

令和4年1月18日発行 第52号 発行／総合青山病院(0533)73-3777 印刷／株式会社印刷所

<http://www.aoyama-hp.or.jp>

ありがたいことに本稿執筆中の
昨年11月時点では、当院受診中の患
者さま方の口コミや近医の先生方の
ご紹介のおかげで、コロナ禍前の
水準まで眼科の手術件数は回復し
てきております。これまで眼科の手
術も本館3階の手術室で行ってお
りましたが、眼科センター内に新
しい手術室を新設しました。これ
により、患者さま方はいつも受診し
ている外来へ行く気持ちで手術を
受けさせていただく事が可能となりま
した。基本的な白内障手術は、どん

眼科は2021年10月より常勤医が1名増え、平日はほぼ毎日医師2人体制で外来を行う事となり外来の場所も、本館から西館1階に眼科センターを開設し、移動いたしました。

場所の移動により、これまで受診していたただいていた患者さま方に迷惑をお掛けいたしました事、この場をお借りしてお詫び申し上げます。

して手術が受けられるように、手術後に状態が落ち着くまで休んでいたぐためのリカバリー室も眼科センターでは手術室横に併設しております。

他にも、眼科センターになつた事で処置を行うための処置室が増えたり、検査機器の増設で行える検査の種類も増えたりしました。これにより、これまで難しかつた診察の合間に処置やレーザー手術を行えるようになりましたし、また様々な検査を行う事で、病態をより正確に把握する事が可能となり

なに多くても人生で2回しか受け
る事はありません。そのため、これ
までも患者さま方の中には、緊張
され、血圧がとても上昇してしま
う方もいらっしゃいました。元々高
血圧で受診されている方もいらっ
しゃいますが、多くの方は元々血圧
は高めでしたが、特に自覚症状が
無かつたため、内科定期受診歴が無

を続けていきます。
何か眼の事でお困りの事があり
ましたら、お気軽に眼科センター
にお立ちより下さい。

ました。眼科ではこれらの充実した施設を十分利用できるよう、知識や経験を蓄積して患者さま方に、より安心して受診していただける医療を提供できるよう、日々努力を続けていきます。



眼科センター 手術室

眼科センター
部長
市川
慶



眼科センターについて

① ふれあい No.52

第48回 看護の現場から。

眼科外来について

眼科センター 看護師

黛 高橋 伸江
舞雪

この度、総合青山病院西館に眼科センターがオープンしました。そこで今回は眼科看護の実際をご紹介します。



眼科センター 待合

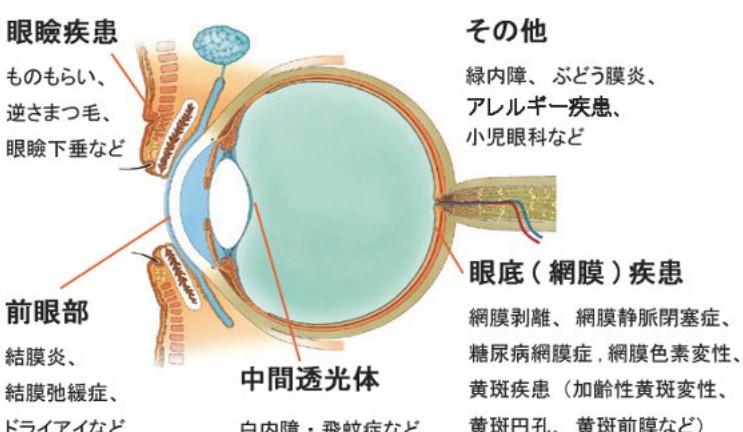
は、白内障手術、緑内障手術、網膜剥離を始めとした硝子体手術、翼状片などの外眼部の手術、目の奥に薬物を直接作用させるための硝子体注射、隅角や眼底などへのレーザー治療があります。内科的治療は、ものもらいなどの抗生素の内服、ドライアイ、緑内障などでの点眼治療があります。

私たち看護師は患者さまが安心して治療を受けられることを目的に、専門知識を用いて視能訓練士と協力しながら活動しています。視能訓練士は主に視力、眼圧、視野等様々な検査、手術の説明に使用するパンフレット、点眼表の作成を担っています。

眼球という小さな臓器を扱うため、眼科は狭い領域と思われがちですが、想像以上に広い領域をカバーする科です。治療法には外科的因素と内科的因素が含まれ、外科的治療

あたりの来院者数は比較的多いです。眼科センターとして西館に移転し、患者さまも慣れないのであるため誘導が必要な場合もあります。お困りのことがあればいつでもスタッフにお声がけください。また、光を当てて目の検査をするため診察室が暗いので、必要があれば看護師が介助をさせていただきます。

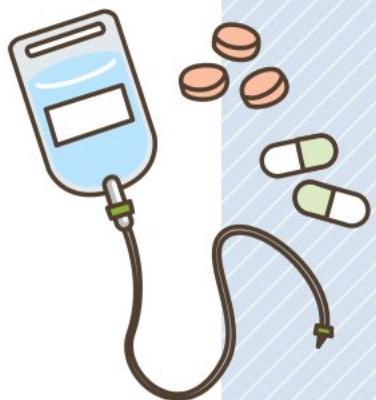
安楽な環境を整えると共に、患者さまとの信頼関係を確立することによって回復への援助をすることだと思っておりますので、何かありましたらお気軽にお声がけください。



第44回 職場紹介

薬局

薬局長 生田 知子



調剤業務

医師・歯科医師から発行された処方箋の内容を確認し、薬の種類や量が適切であるか、飲み合わせの問題はないかなどをチェックし、薬を取り揃え、患者さまにお渡しします。

服用する薬の種類や数が多い場合は1回分の服用量ごとに薬の分包を行い、錠剤の服用が困難な患者さまには、錠剤を粉碎して散剤に変更するなど、患者さまの状態に合わせた調剤を行っています。内服薬・外用薬だけではなく注射薬の調剤も行っています。

注射薬調製業務

食事がとれない患者さまに投与する高カロリー輸液は、クリーンベンチ内で無菌的に調製しています。抗がん剤は

こんにちは。今回は薬剤師の仕事内容についてご紹介します。

病棟業務

各病棟の担当薬剤師が入院患者さまに薬の効果や服用方法、副作用などを説明します。薬が効いているのか、副作用が出ていないなどをモニタリングし、より効果的な薬物療法が行われるように取り組んでいます。

また、患者さまの疾患・治療に関する情報を多くの職種で共有し、治療方針や問題点を検討するカンファレンスに参加することことでチーム医療に貢献しています。

医薬品情報業務

患者さまごとに投与量を医師と確認し、安全キヤビネット内で細心の注意を払いながら調製しています。安全キヤビネット内で調製することにより、薬剤師が抗がん剤に曝露するのを防ぎます。

医薬品管理業務

特に麻薬・毒薬・向精神薬は法律に基づいた厳重な管理を行っています。院内でも必要な薬の発注・在庫管理・供給を行っています。

薬は正しい使い方によりその効果を発揮します。その反面、副作用などの思わぬことが起こる可能性もあります。私たちには患者さまに最適な薬物療法を提供するために、日々の業務に励んでいます。薬について気になることがありますましたら、遠慮なくご相談ください。

高次脳機能障害

リハビリテーション技術室

副主任

山田昌広

皆さまは「高次脳機能障害」をご存じでしょうか。障害と聞いて比較的イメージしやすいものとしては、脳卒中とともに片麻痺などの身体障害、言葉によるコミュニケーションが難しくなる言語障害、精神疾患などによる精神障害があると思います。しかし、高次脳機能障害については知らない、聞いた事がないという方も多いかもしれません。日本でも数十万人の方がこの障害を抱えて生活されていると言われていますが、まだまだ理解が得られていないのが現状だと思います。

今回は、その高次脳機能障害について少しお伝えいたします。

1 高次脳機能障害とは？

- 脳腫瘍
- 交通事故、転倒、転落などによる外傷性脳損傷
- 心肺停止などにより脳血流量が低下する事で起こる低酸素脳症

など

2 高次脳機能障害の原因

記憶する、言葉を話し情報を伝える、必要な情報に注意・集中し考えて判断をする、相手の気持ちを考え感情を制御するなど、日常生活をより良くするための機能があります。これらの能力は、すべて脳によってコントロールされています。そのため、病気や事故によって脳にダメージを受けると、命の危険にさらされたり、日常生活に支障をきたします。

高次脳機能障害とは、脳に損傷を受ける事によって日常生活や社会生活が困難になる障害の事をさします。

3 高次脳機能障害の種類

種類	症状	対応
記憶障害	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい事が覚えられない ・同じ事を何度も聞いてくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・メモやカレンダー、ホワイトボードの利用 ・短い言葉で伝える ・使う物品の置き場を決める（目印やラベルを貼る）
注意障害	<ul style="list-style-type: none"> ・ぼんやりしている ・何かに注意を向けられない ・周りの様子が気になり気が散る ・1つの事を続けて出来ない ・2つの事を同時に出来ない ・片側の物に気付かない 	<ul style="list-style-type: none"> ・短い言葉で説明する ・静かな場所で文字に書いて伝える ・作業環境を整理整頓する ・動作を1つずつ行う ・疲れやすいため早めに休憩をとる
遂行機能障害	<ul style="list-style-type: none"> ・物事の優先順位がつけられない ・段取りが出来ない ・家事や仕事などが計画的に出来ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの課題は避け、簡単な方法にする ・準備や手順を紙に書き説明する ・曖昧な指示はせずに具体的な説明にする
社会的行動障害	<ul style="list-style-type: none"> ・感情や欲求のコントロールが出来ない ・些細なことで怒り易い ・遠慮がなく衝動的な行動が多い ・病気に対する認識の低下 	<ul style="list-style-type: none"> ・イライラしたり怒る事はない ・本人に合った環境を整える ・障害について理解する

上記の他に、言葉が言えない・理解できない失語症、服が着られない・髪の毛をとかせないなど日常的な動作が行えなくなる失行、見たり聞いたり触れたりした物がわからぬ失認という障害があります。

これらの症状で気になる方がみえましたら、一度受診されることをおすすめします。

令和3年「秋の叙勲」を賜つて

医療法人宝美会 理事長 具 栄作



保健衛生功労分野で長く実績をあげたということで評価していただいたようです。具体的には、浜名病院長として33年間地域医療と保健衛生の向上と普及に著しく寄与した、また学校医として湖西市立岡崎小学校、白須賀小・中学校の児童・生徒の健康保持と学校保健の普及に寄与したとなっています。推薦は浜名医師会および湖西市です。

コロナ禍にあつて、11月3日

文化の日の皇居における拝謁は延期され、11月25日静岡県庁にて川勝知事から直接勲記・勳章が手渡されました。今のこと、はからずも令和3年秋の叙勲で「瑞宝双光章」を受章する榮に浴しました。身に余る名誉なことと慶んでおりります。

私の受章は、厚生労働省の

くの内外医療者や関連者諸氏のご協力やご援助あってのことであり、ここに代表者としてお礼と感謝を述べたいと思います。また、医療法人宝美会では、総合青山病院の瀬川昂生元名誉院長、牧野政子前理事長と続けて叙勲の栄を賜りました。今回私が受章しましたが、これが法人皆様を代表し、少しでも医療法人宝美会の評価を高める作用に働けばこの上ない喜びであります。

さて、令和2年1月に牧野政子前理事長が他界され、その月の22日に理事会にて私が医療法人宝美会の理事長に選任されました。時まさしくそのころ「中国武漢で新型肺炎」発生の報道があり、2月には新型コロナウイルスが我が国において蔓延し始めました。各種集会や講演会などが中止になります。

ここに至るも、もとより私一人に依るものではなく、病院発足以来数えきれないほど多く

追い込まれ、病院機能も対新型コロナウイルスマードに変更せざるを得なくなりました。それにともない病院経営も一気に悪化しました。わたくしの理事長2年間はコロナ時代と符合します。宝美会傘下の病院・施設をあげて、コロナ対策をかつてないほどの熱意と使命感を持つて行い、ワクチン接種も混乱なく行いました。そして、やっと病院状況に明るさが見えてきたと思ったら、またまた新たな変異株の出現です。この状況にめげることなく、私たちは今までの経験を活かし、私たちの持てる内的能力をフル回転し、各病院施設相互の力を合わせ、地域で確固たる役割と責任を果たしていくので、よろしくお願ひいたします。



第31回

院長からみなさまへ

院長 小森 義之

年頭のご挨拶

新年を迎え、ご挨拶させていただきます。

昨年2021年も、新型コロナウィルス感染症(COVID-19)に振り回落された年となりました。緊急事態宣言下にオリンピックは無観客で開催されました。日本選手の活躍にはわくわくさせられましたが、開催したことに関してはいまだに賛否が分かれる結果となりました。

一方、感染対策の切り札と言われているワクチン接種は、豊川市、医師会、商工会議所などが連携して、個別・集団・職域接種と、様々な選択肢を提供して、対象者の85%が接種を受けられました。また、接種から8か月たつた人を対象に昨年年末から3回目の接種が始まり、医療従事者、高齢者から一般に向けて順次接種が開始されています。

ワクチン接種の効果かはわかりませんが、COVID-19は愛知県でも当地域でも、年末にかけては減少傾向にあり、一部では普通の生活を取り戻しつつありますが、海外では新たな変異株の出現が報告されており、水際対策を強化しつつ国内での次の感染拡大の波に備える時期もあります。

当院ではCOVID-19患者さまの入院は行つていませんが、発熱外来での核酸検出検査(NEAR法)は多数行つておらず、多くの陽性患者さまを抽出しました。今後は内服治療薬などができると期待しています。

一方、昨年度の住民健診、特定健診の受診率はコロナ禍以前より伸び悩んでおり、特に新規受診者が少ないと思われます。したがって、受診控え、健診控えにより、悪性腫瘍などでは早期発見が出来ずに進行して見つかる症例があると言われています。コロナ禍でも健診(検診)はなるべく受けるようにして下さい。また、何か気になる症状があれば早めに医療機関を受診して、必要な検査・治療を受けていただきたいと思います。このウイルスとの戦いはもうしばらく続くものと考えます。皆さんもご自身・ご家族を守る対策をしっかりとし、元気に過ごしてくださいたいと思います。

知っ得!! 情報

第45回

人生の最期に向けた 人生会議 ACP

地域医療連携室 社会福祉士 石黒 嵩明

どんな人でも、命に関わる大きな病気やケガをする可能性があります。そして、大きなケガや病気を患うことで、自分の希望が正確に伝えられない場面に出くわす可能性もあります。そのような将来の変化に備え、自分自身の価値観や目標、多種多様にある希望、望む生活、医療ケアに対して、自分自身で考えたり、信頼できる家族や友人と繰り返し話し合うことを

人生会議 -ACP (アドバンス・ケア・プランニング) といいます。

事前に、自分の希望の人生をどのように続けていきたいか、考えてみてはどうでしょうか。また、その希望を、自分自身の考えに留めておくだけでなく、家族や友人と共有することで、自己判断ができなくなったり、信頼できる家族や友人と繰り返し話し合うことを

皆さんも一度、今後の人生をどうしていきたいか、家族や友人と話し合ってみませんか？



栄養のチカラ

旬のレシピ

柚子鶏団子鍋

管理栄養士が考える、栄養に配慮した体に良いレシピや栄養情報を届けします。



材料(2人分)

柚子鶏団子

鶏ひき肉	200g
柚子の皮	1/2個
片栗粉	小さじ2
酒	小さじ2
醤油	小さじ1
塩	ひとつまみ

鍋の具材

白菜	1/4束
長ネギ	1本
豆腐	1/3丁
えのき	1/2袋
しめじ	1/2袋
水菜	4本
糸こんにゃく	1袋

だし汁

水	800ml
料理酒	大さじ3
みりん	大さじ3
醤油	大さじ3
顆粒和風だし	小さじ2

柚子ポン酢

柚子のしづく	150cc
減塩だし醤油	150cc
みりん	30cc
かつお節	10g
昆布	5cm

作り方

- ボウルに柚子鶏団子の材料を入れて混ぜ合わせ、食べやすい大きさの団子を作る。
- 食べやすい大きさにカットした鍋の具材と1とだし汁の材料を鍋に入れ、加熱する。
- 柚子ポン酢の材料を混ぜ合わせて小皿に入れる。
- 鍋の具材にしっかりと火が通ったら完成。

柚子の皮を少し大きめ(5mm角)にカットし、団子に混ぜる事で、風味をより感じることができます。

柚子鶏団子は鍋以外にもスープに入れたり、キャベツの煮物などに使用しても美味しくお召し上がりいただけます。しめにはうどんがおすすめです。

また、柚子には「ビタミンC」と「ヘスペリジン」という、ポリフェノールの一種である成分が多く含まれています。抗菌作用や、粘膜を強化し肌荒れや冷え性などにも効果があります。

ぱく質や野菜も沢山食べる事ができ、体も温まりますが、つい塩分が多くなってしまいます。風味のある柚子を使用したり、きのこには旨味成分が豊富なため、上手に利用すると少しの工夫で塩分を控える事ができます。

A S O B I
N O
H I R O B A

遊びの広場

数独の解き方



- タテ9列、ヨコ9列のそれぞれに1~9までの数字が1コずつ入ります。
 - 太線で区切られた3×3の枠内(マスは9コ)にも1~9までの数字が1コずつ入ります。
 - 従って、タテ、ヨコ、枠内で、同じ数字が重複して入ることはできません。
- とにかく、算数無用、注意力の勝負、なるべくラクをして、かつスマートに解いていきましょう。

答えは8ページ目をご覧ください。

				1				
6	2							5
5			2	8				
	3	6						7
			4		2			
	6	8				4		
7				4	2			
		3	5				1	
2				8		3		

ご意見
ご要望

ふれあい箱の回答

たくさんのご意見ありがとうございます。

外来 外来患者さま

携帯電話のWi-Fiが使えると良いのですが。
希望します。

外来 外来患者さま

西1病棟 入院患者さま

お褒めの言葉

いつも美味しい料理をありがとうございます。
とても洗練されていていいです。

西1病棟 入院患者さま

温かいお言葉をありがとうございます。今後とも患者さま方それぞれに少しでも喜んでいただけるようなお食事をご提供できたらと考えております。よろしくお願ひいたします。



お褒めの言葉

スタッフの皆さん、ありがとうございました。優しく丁寧に接してくださり、涙が出るほど嬉しかったです。本当に快くやっていただきました。皆さん、お体を大切にこれからもよろしくお願ひします。感謝しております。

1病棟 入院患者さま

温かいお言葉をありがとうございます。今後とも患者さま側に立った医療を目指し、職員一同精進してまいりますので、よろしくお願ひいたします。

ご意見

携帯電話のWi-Fiが使えると良いのですが。
希望します。

外来 外来患者さま

貴重なご意見ありがとうございます。

今後、院内で検討させていただきたいと思います。よろしくお願ひいたします。



病院の美化運動



10月29日(金)、職員による病院敷地周りの清掃作業を実施しました。

今後も定期的に実施し、病院にお越しいただいた患者さまやご家族の皆さんに気持ちよく過ごしていただけるよう、努めていきたいと思います。

遊びの広場の解答

3	4	7	5	1	9	6	8	2
6	8	2	4	3	7	1	5	9
5	9	1	2	6	8	7	3	4
8	3	4	6	5	2	9	1	7
1	5	9	7	4	3	2	6	8
2	7	6	9	8	1	3	4	5
7	1	3	8	9	4	5	2	6
9	6	8	3	2	5	4	7	1
4	2	5	1	7	6	8	9	3

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

2021年は新型コロナウイルス感染拡大により、自粛生活からのスタートでしたが、ワクチン接種率が高まり、延期されていた東京オリンピックも開催することができました。少しずつ日常生活が戻り、2022年を迎ましたが、皆さまはどのように新年を迎えたでしょうか?

今年の干支は「壬寅(みずのえとら)」です。「厳しい冬を越えて芽吹き始め、新しい成長の礎となる」という一節があります。これにあやかり、3密が解除されてコロナ禍前の生活様式に戻り、穏やかな日々が早く送れるようになることを願いたいですね。それまでは、手洗い・うがい・マスク着用で感染予防対策を図り、ご自愛下さい。

「ふれあい」は、今後も皆さまへ情報発信できるよう活動してまいりますので、本年もよろしくお願ひします。

病院の理念

患者さま側に立った全人的医療を目指します

基本方針

地域の中核病院として安全で質の高い医療に努めます
患者さまが安心出来るゆきとどいた診療を提供します
患者さまに信頼されるゆきとどいた看護を提供します
患者さまに満足されるゆきとどいたサービスを提供します
患者さまがやすらげる快適な環境を提供します

患者さまの権利

- 適切で質の良い医療を受ける権利を有します
- ご自分の医療の内容について知る権利と説明を受ける権利を有します
- ご自分の医療の内容について自由に選択し決定する権利を有します
- ご自分の医療について他の医師の意見を聞く権利を有します
- 人格を尊重されプライバシーを保護される権利を有します
- ご自分の診療録の開示を求める権利を有します